

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

協議会議事要点録				
会議名	平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会			
日時	平成26年4月28日（月）14時～15時1分			
場所	江田島市役所 2階会議室			
傍聴者	9名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	×
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	なかもと のぶこ 中元 信子	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	おおつ かつひこ 大津 克彦	×
	江田島市女性会連合会	会長	おかだ れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局海事振興部旅客課	課長	ながみ しんご 永見 慎吾	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	ふじもと かずのり 藤元 一則	×
	広島県地域政策局地域力創造課	課長	きむら ひろし 木村 洋	代理出席 長岡 秀幸
	江田島警察署	地域交通課長	こにし まさき 小西 正記	×
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
江田島市	企画部長	やまもと しゅうじ 山本 修司	○	
江田島市	土木建築部長	はこだ のぶひろ 箱田 伸洋	○	

1 開会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会長	あいさつ
3 議長の選任について	
事務局	野原委員を平成26年度の議長に選任
4 協議	
(1) 報告事項 西能美航路の再々編について	
事務局	<p>西能美航路の再々編については、昨年度からこの協議会で議論していただき、平成25年12月に協議会の意見を「公設民営化」として取りまとめていただいた。これを受けて、今年の3月26日に市長の方から「中町・高田～宇品航路については、公設民営化する」という方針を打ち出したので、今日はその報告を行いたい。この資料は3月26日に全員協議会で打ち出した際の資料ということでご覧いただきたい。</p> <p>－資料1により説明－</p> <p>現在は指定管理者を決定するための作業の洗い出しを行っている。その中で、当然船員さんの処遇の問題が絡んでくるので、処遇に関する協議等々を行っている中で、スケジュールについては流動的な面も出てくると思っている。協議の結果なども含めて、指定管理者の公募の条件等々も考えていきたいと思っているので、それも含めて日程は再度調整しないといけないと思い作業を進めている。移行の時期は、一つの目標として掲げている。早急に必要な手続き、処遇等々に関する協議を進めて、スケジュールについては明らかにしていきたい。</p> <p>スケジュールを組む中で、しっかりと公募の期間を取って、適切に必要な手続きを行って、指定管理者を選定したいと考えている。</p>
議長	事務局から報告がありました。皆さんからご質問やご意見があれば賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	<p>「3月26日に全員協議会で報告したものである」とのことであった。議会でも報告されたものなので、ここでとやかく言うべきことではないと思う。この資料で、議会の了解をいただいているということではよい。</p> <p>全員協議会そのものは、議決するという会議ではないが、一応議員さんとしては公設民営化を了解して、全員協議会でまとまったということでは理解してよい。</p>
事務局	全員協議会では、あくまでも市の方針を報告したということになる。議会の方で、「良い」「悪い」の意思決定がされるのは、今後になる。指定管理者制度の前提条件として、公の施設として位置付けしておく必要があるの、船を公の施設

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

事務局 (つづき)	<p>とするための、設置及び管理条例を定める必要がある。また、指定管理者を決定する時には議会の承認を得る必要がある。今後、議会の方に手順を踏みながら、了解を得ていくということになる。</p> <p>全員協議会では、「こういう方向で進めていきますよ」ということを、たちまちご報告したということになる。</p>
(2) 協議事項	
① 規約改正(案)について	
事務局	－資料2により説明－
議長	事務局から資料2により説明をいただいた。皆さんのご質問・ご意見を賜りたい。
委員	1ページ目、下から2行目に「昭和21年規約」とあるが間違いではないか。
事務局	ご指摘のとおりです。資料の記載内容が誤っている。「平成21年」ということで修正したい。失礼しました。
議長	<p>「平成21年」ということで、修正をお願いする。他に何かあればお願いしたい。</p> <p><意見なし></p> <p>それでは、その他ご意見がないので、規約改正(案)については、承認いただいたということ取りまとめたい。</p>
② 平成26年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	
事務局	－資料3-1, 3-2により説明－
議長	それでは、協議事項の2つ目、平成26年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について、何かご質問やご意見があればお願いしたい。
委員	<p>1ページ目の「3陸上交通について」の「③交通空白不便地域対策」のところで、「バス路線の変更などによる交通空白不便地域については」と記載がある。</p> <p>この表現では、交通空白不便地域の理由がバスだけかのように受け取れる。交通空白については、市の行政全体に関わることで、バスが通っていない場所でも問題になる事項ではないか。「バス路線」という言葉があることによって、「バス路線が通っている地域のことしか考えませんよ」と言っているように感じる。</p> <p>協議会としては、視点が狭くなっているような気がする。皆さんの意見で決めるべきことであるが、私はそのように思うが。</p>
議長	具体的にこのようにした方が良いというご意見はお持ちか。
委員	「バス路線の変更などによる」を削除してはどうか。おれんじ号を走らせることが難しくなったときにも、交通空白の問題は生じる。このままだと、おれんじ号が難しくなった時は考えないというように読み取れる。
議長	<p>「『バス路線の変更などによる』を削除してはどうか」というご意見であったが、いかがでしょうか。</p> <p>事務局の方はいかがでしょうか。</p>

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

事務局	委員ご指摘のように、今の表現だとバスだけという印象はある。「バス路線の変更などによる」を削除するという事で考えたいと思うが、いかがでしょうか。
議長	「バス路線の変更などによる」を削除するという事で取りまとめたと思いますが、いかがでしょうか。
委員	よいと思う。
委員	削除するとなると、「交通空白不便地域」の定義はどのようになるのか。これまでの協議会では、バス路線が少ないところを、「交通空白不便地域」と捉えていた。それを削除するという事になると、定義が崩れるのではないか。私の考えでは、江田島市全体が「交通空白不便地域」だと思っている。バスが通っているからといって便利などところではない。要は、どこの地域も、どこの場所も同じだと思う。山手側の人から見ると、バスが通るのは国道だけだと感じる。国道まで下りてくるアクセスをどのような方法で救うのかを考えるのが問題であって、バスが便利ということではないと思う。それは理屈であるが、いずれにしても、「交通空白不便地域」という言葉から書き始めるとしたら、どこが「交通空白不便地域」なのかということになると思う。
議長	「交通空白不便地域」という言葉を削除すると、これまで協議してきた中での定義を変更することになるので、それではまずいのではないかというご意見であった。他の方はいかがでしょうか。
委員	強いて言えば、「交通空白不便地域」の前に「生活」を加えるということも検討できると思う。今後のことを考えるか、今のことを考えるか。もう少し江田島市全体の生活の形、将来的に人口が増えるようなことがあった時には、その時にはバスを走らせるとか、要は交通のことを考える必要があるので、バスと交通を必要十分条件のように書いてしまうと、今のような意見になるかもしれないが、幅広く考えていただいて、今でもバスが通っているけれども、生活に困っているかもしれない。行政の側から「検討の余地はない」というふうに意思を出せるのかどうか。幅広く表現していくことで検討の余地がある。別の言い方をすると公平であると思うので、バスに限定したような表現にするのはどうかと思う。
議長	バスにこだわるのではなく、「交通空白不便地域」は、生活交通全般で課題になっているという指摘であったと思う。 他に意見はないか。
委員	委員が言われることも理解できるが、バス路線の変更を中心にこの協議会では話をしてきた。私は原案のままで良いと思う。今までの経過で言うと、「バス路線がなくなったのでどうするのか」ということでやってきた。言葉については、このままでいいと思う。
議長	「バス路線の変更」という記載は、これまで取り組んできたことは、既存のバス路線の変更に伴うものであるというご意見である。
事務局	地域公共交通連携計画では、交通空白不便地域を「①既存のバス路線から離れており利用できない地域」、「②バス路線があるもののダイヤが利用者の活動にマッチしておらず利用できない地域」、「③島しょ部特有のバス路線までの高低差のある地域」となっている。

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

<p>議長</p>	<p>事務局から、3つの定義付けについて話があった。</p> <p>話を元に戻すと、これまでは既存のバス路線の変更について検討してきたので、原文を残しても良いのではないかという意見が出された。文章の流れの中で、理解できるので、その前段の文言があっても差し支えないという意見である。</p> <p>事務局が説明した定義付けから言うと、この表現でも問題ないように思うが。この文章で行かせていただいて、また何か問題が出てきたら、また踏み込んだ議論をするということで良いかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>委員が気にしているのは「バス路線の変更」の「変更」という言葉で、「変更」が空白地域を作っているのではないかと。そうではなく、バス路線と交通空白不便地域の関係はあるけれど、バス路線の変更によって交通空白不便地域が生まれたという事例はあまりないのではないかということ。ですから「バス路線の変更」ではなく、「バス路線と絡みのある」というような感じで、「変更」だけが要因ではないということだと思う。利用者が少なく、バス路線を廃止したところでデマンドを走らせることはあった。交通空白不便地域は、急傾斜地となっている地形上の問題や、時間的な不具合など、他にも問題点が色々ある。陸上であれば、バスしかないので、それに絡んでという表現で折り合いがつけばと感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>「5地域公共交通網形成計画策定準備」というのがあるが、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が、確か昨年改正された。その改正の主な点は、県も計画策定者になれるということである。それに伴って、こういった取組を進めるというのは、どういうことなのか理由をお聴きしたい。</p> <p>それから交通政策基本法が成立して、国の方ではこれからの交通のビジョンについて閣議決定された。それを受けて我々の地方では、どういう交通網を作りたいというものにお金が付いてくるという流れにはなっているが、やり方ははっきりしていないと思う。そういった中で、ここに記載されている中味はどういう意味なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「準備」という表現にしていることに、意味がある記載になっている。国の方で法律の改正等を行われたが、具体的な取組の中身については、我々の方にも見えていない状況である。そういった状況から「準備」という表現にしている。</p> <p>一方で、この協議会でも使っている地域公共交通総合連携計画は、今年度をもって計画期限を迎える。このため、国や県の動向を見ながら、できれば今年度中に見直しができるかという思いがある。</p> <p>以上のことから「準備」という表現になっている。</p>
<p>議長</p>	<p>国や県の動向を見ながら、江田島市でも地域公共交通について考えていきたいということから、「準備」という表現になっているとのことである。</p> <p>他に何かありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>3ページの歳出、事業費の中で、航路利用促進費として150万円が計上されているが、具体的にどのようなことを考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年度、車両の乗船者を対象に、車両乗船の領収書を出していただいた方を対象に特産品プレゼントを実施したところ、200人近い方から応募があった。</p>

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

事務局 (つづき)	<p>特産品の販売や、それに関連する方々には一定の貢献ができたとは思っている。しかし、航路の利用促進という本来の目的については若干の疑問が残っている。</p> <p>今年度の事業実施については、昨年度、海上分科会では了承を得ている。また、昨年度の協議会では、単なるプレゼントの贈呈ではなくて、イベントとの結び付けであるとか、日常的なサイクリングとリンク付けるとか、色々なご意見をいただいているので、まずは海上分科会の方で再検討をさせていただき、具体的な中身を決めて、協議会に報告させていただきたいと考えている。現段階では具体的な内容については持ち合わせていない状況である。</p>
委員	具体的な内容は決まっていないが、予算だけは計上しているという考え方か。
事務局	そうである。
議長	航路利用促進事業に150万円は用意しているということである。
委員	観光協会としても一生懸命観光客の皆さんを呼び込めるようにしたい。その一つは船で来ていただくことが中心になるので、現場の意見を聴きながら、実のある航路利用促進になるようお願いしたい。
議長	せっきくの予算なので、有効に活用されるようお願いする。
議長	<p>それでは、その他ご意見がないので、平成26年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)については、ご承認いただけるか。</p> <p><異議なし></p> <p>それでは、承認されたということで取りまとめたい。</p>
5 その他	
議長	<p>それでは、5のその他に入る。</p> <p>企業局交通課から、前回の協議会で報告のあった交通船事業のダイヤ変更について経過報告がある。</p> <p>交通課長をお願いしたい。</p>
交通課長	<p>前回の協議会でダイヤ改正について報告したところ、おれんじ号の接続について指摘をいただき、持ち帰って検討することになった。</p> <p>その後、関係機関などと協議した結果、おれんじ号との接続を考慮した形でのダイヤ改正が実現できたので報告する。</p>
議長	<p>おれんじ号と接続できるダイヤ改正になったということで、これについてご質問やご意見があればお願いしたい。</p> <p><意見なし></p> <p>それでは、その他に何かあればお願いしたい。</p>
委員	<p>日本旅客船協会では、全国の取組として、子どもたちにもっと船に親んでもらおうということで、5月5日の子どもの日に子ども料金を無料にするという取組を実施する。この地域についても多くの事業者に参加いただき、利用促進に努めようということになったので、市の方でも広報で協力していただき、たくさんの人に島に来てもらえるようにと考えている。</p>

平成26年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成26年4月28日）

<p>委員 (つづき)</p>	<p>それから、しまのわ2014関連で、江田島でもイベントが開催されるが、7月20日前後の海の日を含めた3日間、宇品の港で夏の部のオープニングイベントが開催される。この時にも、広島市内からたくさんの人がある。今までの例では、1日で3万5千人、2日間で7万人、3日間実施するので10万人以上の人にお越しいただけると見込んでいる。港まで来られたお客さんを、しっかり島に来てもらい、あるいは船に乗ってもらえるよう取り組んでいきたいので、協力をお願いしたい。</p>
<p>議長</p>	<p>5月5日の子どもの日、それから7月20日前後のイベントと結び付けて、事業ができないかということで検討して欲しいという意見であった。</p>
<p>事務局</p>	<p>船に乗って島に来てもらうことについては、我々も知恵を絞っていきたく思っている。この協議会で承認いただいた予算150万円についても、どういったものが効果的であるか、皆さんと御相談しながら進めていきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>その他、事務局でありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務的などところで、次回交通協議会の日程について、5月22日の14時からということで考えている。今回は平成25年度の決算報告、地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請ということで、おれんじ号の補助申請について、議題として考えている。 改めて、事務局から日程等々のご案内については、送付したいと考えている。</p>
<p>議長</p>	<p>季節的に役員交代など微妙な時期ではあるが、そういう予定でありますので、よろしく願いしたい。 他に何かご意見・ご質問ございませんか。 < なし > それでは、本日の公共交通協議会を閉会させていただきます。</p>
<p>6 閉 会</p>	